

# 第 60 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2019. 12. 12 石田 麻莉子

## 『アシテアダニ舌下錠 100 単位 (IR) /300 単位 (IR)』

シオノギ製薬 山崎 智さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：熊山 ともみ、木村 亜希子、味田村 俊次、鈴木 里菜、清田 好美、  
隅山 穂子、鈴木 亜湖、一杉 有妃、石田 麻莉子

### 【効能・効果】

ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎

### 【用法・用量】

通常、1 回 100 単位 (IR) を 1 日 1 回舌下投与から開始し、1 回投与量は 100 単位 (IR) ずつ、300 単位 (IR) まで増量する。なお、漸増期間は、原則として 3 日間とするが、患者の状態に応じて適宜延長する。舌下投与後は完全に溶解するまで保持した後、飲み込む。その後 5 分間は、うがいや飲食を控える。

\* 単位 (IR) アレルギー患者の皮膚試験に基づき設定されたアレルゲン活性単位

### 【小児等への投与】

・ 低体重児、新生児、乳児は又は 5 歳未満の幼児に対する安全性が確立していない

・ 小児などに対しては、本剤を適切に舌下投与できると判断された場合にのみ投与することまた保護者などに対しても本剤の適切な投与方法を指導すること

\* 適切に舌下投与できるのならば 5 歳未満でも投与可能とのこと

### 【副作用】

発現率 5% 以上認められた副作用：口腔浮腫、咽喉刺激感、耳そう痒症、口内炎、口腔咽頭不快感、口腔内不快感

### 【特徴】

・ ヤケヒョウヒダニエキス原末とコナヒョウヒダニエキス原末が入った舌下錠  
・ アシテア舌下錠 100 単位 (IR) は 19, 000JAU に相当、300 単位 (IR) は 57, 000JAU に相当するためミティキュアダニ舌下錠と比較すると抗原量が高い

・ミティキュアと比較して抗原量は高いが、治療効果や副作用に目立った違いはなし

#### 【考察】

- ・アシテアは舌下投与後完全に溶けるまで保持、ミティキュアは1分間保持とアシテアのほうが溶解するのに時間がかかるため投薬の際に注意が必要
- ・副作用がでたさいに、抗ヒスタミン薬で対応するのか、水飲み法で対応するかは医師によって対応が異なるため確認が必要と思われる
- ・舌下免疫療法に共通することだが、長期で使用するによってアレルギー症状をおこりにくくする治療法のため途中で中止にしないように指導が必要
- ・患者の状態によって漸増期間が異なるため、処方内容と漸増期間に相違がないか投薬の際に確認をとる必要がある

#### 【質疑応答】

問：ヤケヒョウヒダニ、コナヒョウヒダニ以外に他のダニアレルギーにも効果があるか？

答：上記の2種類ダニアレルギー以外に効果があるかは不明。

問：アシテアダニ舌下錠と抗ヒスタミンを併用している患者はどのくらいいるか？

答：約85%。ただ副作用がでたから併用しているのか、予防で併用しているのかはわからず。